



平成 29 年度 島嶼・地域ナース育成プログラム 第 4 回シンポジウム

“その人らしく生きる”を支える

—繋がる多職種のちから—

「地域包括ケアシステムの構築」に向けて“病院完結型医療”から“地域完結型医療”へと転換し、保健・医療・介護・福祉の協働が求められています。が“シームレス”な連携が図れているでしょうか？医療と生活を繋ぐためにそれぞれの職種には何が求められているのでしょうか？それぞれの職種が役割を全うし、他職種を理解し、関係性に働きかけることが出来た時に“その人らしく生きる”を支えることに繋がるのではないのでしょうか？医療機関・介護施設・ケアマネジャー等の報告からともに「多職種が繋がるために何が必要か」を再考し“協働の本質”について考えてみませんか！？

平成 29 年 9 月 30 日(土)13:30～16:35

会場：鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス 鶴陵会館 ウィリアム・ウィリスホール(大ホール)

参加費：無料 (地域ケアスタッフ、医療従事者、学生、関心のある方はどなたでも参加できます。)

申込〆切：9月15日(金)

プログラム

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～13:40 開会のご挨拶
鹿児島大学医学部長 河野嘉文教授
- 13:40～13:55 事業の取り組みと現状
島嶼・地域ナース育成センター
副センター長 丹羽さよ子教授
- 13:55～16:30 講演会・フォーラム
- 13:55～ 特別講演：市原美穂先生
- 14:45～ 島嶼・地域ナース育成センター履修生活動報告
鹿児島大学病院地域看護コース受講生実践報告
- 16:00～ 休憩
- 16:10～ 意見交換
- 16:30～16:35 閉会のご挨拶

特別講演

市原美穂先生

認定 NPO 法人ホームホスピス宮崎理事長

1947年宮崎県生まれ。1998年から「ホームホスピス宮崎」設立に参画。2000年に認証を受け、2002年から現職。その後、2004年に空いている民家を借りて「ホームホスピスカあさんの家」を開設。その他にも、訪問介護、訪問看護、居宅支援事業、暮らしの保健室などの事業を運営。その活動は、テレビやラジオなどで全国に紹介される。2015年から全国ホームホスピス協会理事長。2016年NHK地域発ドラマ「宮崎のふたり」監修

2006年「毎日介護賞」(毎日新聞社)受賞
2008年「社会貢献者賞」(社会貢献支援財団)
2009年「新しい医療のかたち賞」(医療の質・安全学会)
2015年「保健文化賞」(第一生命)
2015年「毎日社会福祉顕彰」(毎日新聞社)
【著書】宮崎ホスピスガイドブック「病院から家に帰る時読む本」共著
『ホームホスピス「かあさんの家」のつくり方～一人暮らしから、とも暮らしへ～』
『ホームホスピス「かあさんの家」のつくり方 2～暮らしの中で遊ぶ～』



お問い合わせ先：鹿児島大学医学部島嶼・地域ナース育成センター事務局 〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1
TEL/FAX 099-275-6797 E-mail: tousyo03@health.nop.kagoshima-u.ac.jp

主催 鹿児島大学医学部島嶼・地域ナース育成センター 共催 鹿児島大学病院看護部